

三田市域は神社本殿の宝庫であるという過言ではない。総数八棟の中世の神社本殿が存在する。この数は極めて濃密な分布といえるだろう。また十七世紀前半の本殿も七棟もあって、これも他の地域では考えられないのこりのよさである。中世以降は規模の大きな村落や…地域には神社が祭祀されることが通例であるが、古い遺構が保存されることはきわめて少ない。なぜ三田市域にこれだけの古い神社が残っているのか…。…伝統として代々受け継がれ続けて、現在に至っていることは確かである。このような古いものを大切にすること、伝統を受け継ぎ守ることが、市域の広い範囲でおこなわれてきたことは素晴らしいことである。

三田市史 別編2 さんたの文化遺産 概説二から 平成14年7月1日発行  
監修 多淵敏樹(大手前大学文化学部教授・神戸大学名誉教授)

素晴らしいホーホー踊りの郷だった。形式田楽を含めたその数、八。兵庫県下で田楽を伝えるところはあと四か所。これを考えたら三田はすごい。民俗芸能としての田楽は、何しろ全国に六十か所ばかりしか残されていない。一市規模として、三田は日本一の田楽の郷といえた。

北摂・三田写真ガイド ホーホー踊りの郷 まえがきから  
武本俊文 關六甲タイムズ社 刊 昭和58年11月発行

三田は古くから市域全体で伝統文化を大事に守っています、それは大変素晴らしい、まちの誇りと考えています。そのことを伝えたく、このパンフレットを作成しました。

平成28年3月 三田の歴史・文化遺産再発見の旅 市民委員会  
富士が丘魅力あるまちづくりサークル

発行： 富士が丘魅力あるまちづくりサークル、  
三田の歴史・文化遺産再発見の旅 市民委員会

池田洋介 久藤宣機 青江征男 岩永日出登  
榎田清治 清水洋克 出合哲雄  
古家良和 山崎敏昭 渡辺利雄

後援： 三田市

